

安濃地域「みまもり研究会あのを」の現在を取材しました。



きっかけ “ここには、居場所がある…” ✨

“住み慣れたこの町で、健康に暮らしたい” “ここには、私の居場所がある”
こういった、何気ない思いを大切にしていくには、支え合う気持ちや絆が
必要です。そこで、高齢化がすすむ中でも支え合える地域をつくるため、
地域の有志によって「みまもり研究会あのを」が立ち上げられました。発足
から10年以上が経った今も地域で引き継がれながら活動されています ✨

活動紹介

①「きざしと気づき」 パンフレット

日々の生活の中で人との
交流や見守り、声掛けを
意識するツールとして発行



②安心(相談先)カード

生活の中で気になることな
ど、身近な地域の方に相談し
たい時に備えて



③メンバー間での 話し合い

定例会は2か月に1回。
フランクな話し合い。そこで
課題がみえてまいります…



～活動開始から10年を経て～ みまもり研究会あのを

みまもり研究会
あのを



草生地区



明合地区



令和7年度は、初めに10
年間を振り返りながら、今
年度の活動内容について
メンバーで話し合いました。
第2回の定例会では、
地域の活動や頼れる人物、
集まる場所などについて
現状を共有し、お宝マップ
を作成しました。



村主地区

安濃地区



～発足から10年～継続への想い



3代目 座長

「みまもり研究会あのを」は地域の
守り神。安濃地域の皆様のご理解
による安心(相談先)カードのご活
用で、みまもりの町づくりを推進し
ます。子どもから高齢者まで、みま
もりの拡充を図る事が大切！！

答えがなくてもいい！
言いたいことを言い合おう。
このつながりは切ったらあかーん！！

コー
ディ
ネー
ター
より

高齢者や一人暮らしの方、子どもたちなど地域の
誰もが安心して暮らせるよう、お互いを気にか
けあうこの取り組み。日頃のあいさつなど、
ちょっとした行動が大きな支えになってきま
す。しかし、活動を継続することは容易ではな
いように思います。相手との関わり方やプライ
バシーへの配慮など、気を付けなければいけ
ないこともたくさんあります。それでもこの活
動を続けることは大きな意味があると感じます。
地域の中で顔見知りが増えることで、孤立や事
故を防ぎ、いざという時に助け合える関係が生
まれます。何気ない心遣いや声掛けが誰かの安
心につながっているのだと感じています。